

令和5年度 福島県介護労働懇談会の開催 (福島支部)

開催日時：令和5年10月16日(月) 14:30-16:30

テーマ・議題

1. 介護分野の人材確保・生産性向上の動向について
2. 令和4年度介護労働実態調査結果(福島版)報告
3. 共有情報・取り組みの紹介、意見交換

参加機関

福島労働局職業安定部、福島公共職業安定所、福島県保健福祉部、福島県商工労働部、福島市健康福祉部、福島県老人保健施設協会、福島県老人福祉施設協議会、福島県養護軽費老人ホーム・ケアハウス連絡協議会、福島県認知症グループホーム協議会、福島県介護福祉士会、福島県社会福祉協議会、国際医療看護福祉大学校、高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部、介護労働安定センター福島支部



会議風景



【10/26本報用】福島県介護労働懇談会オンライン配信の画面



福島県内の
各市介護保険課向け
オンライン配信の画面

主な内容

1. 介護分野の人材確保・生産性向上の動向について (介護労働安定センター事務局長)
2. 令和4年度介護労働実態調査結果の報告 (介護労働安定センター福島支部)
介護労働実態調査における福島県データの直近5ヶ年推移、全国平均との比較など報告
 - ・ 福島県の1年間における採用率は15.4%、離職率は15.1%で、3年ぶりに採用が離職を上回った。但し、訪問介護員は採用を離職が上回っている状態が続いており人材確保が厳しい状況。
3. 取り組み・トピックス等の共有、意見交換 (懇談会メンバー)
 - ・ 県内の有効求人倍率は1.36倍で求人が上回っているが、直近では鈍化の傾向。物価高が影響していると推測。介護関連職種の有効求人倍率は3.55倍と高く、職種間でのミスマッチという状況に大きな変化はない。
 - ・ 将来を担う世代への介護の魅力発信として、小中学生とその保護者を対象とした体験型介護イベントを実施。
 - ・ 少子化によって県内の養成家への入学生は減少する一方、次年度に向けた取り組みとして、「準介護福祉士」を見据えた介護の留学生募集の強化を、日本語学校等と連携して進める。
 - ・ これまでの外国人受入れ環境整備事業で事例が出来てきた。すでに就業している外国人介護職員を対象としたフォローアップ研修も国際医療看護福祉大学校の協力で実施、多くの申し込みをもらっている。

参加団体からのお知らせ

◇高齢・障害・求職者雇用支援機構 福島支部より

少子化により将来的な人材不足は明らか。「生産性向上訓練」の制度があるので、介護職場での業務効率化や働き方改革を進める際にはぜひ活用していただきたい。

事務局(介護労働安定センター福島支部)からお知らせ

◇第27回「介護労働シンポジウム」を11月13日(月)に開催する。